

## 参議院選挙の結果について

与党が改選議席数の過半数を獲得し、安定政権のもとで成長を目指す現路線の継続を国民が信任したと受けとめている。世界経済の先行きに不透明感が増す中で、あらためて経済最優先の政権運営によって持続的な成長を実現し、財政再建の道筋を示すことを強く求めたい。

一方で、令和の時代を迎えて初めての国政選挙となったが、亥年選挙の懸念が現実となり、戦後2番目に低い投票率を記録したことは、極めて残念だ。持続可能な社会保障制度の確立や財政健全化など、将来世代の人生設計に影響する課題が山積しているにもかかわらず、政策的な議論によって国民の関心を高めることができなかった政治の責任は重い。

京都選挙区においては、現職が議席を確保することになった。人口減少に歯止めが掛からない中で、地域で働き、暮す人々が未来への希望を描ける社会基盤を構築していくことが求められる。地域の経済や生活を支える中小企業を中心とする成長の実現に向けて、地元・京都の声を国政に反映できるよう、精力的な議員活動に取り組んでもらいたい。

以上

令和元年7月22日  
京都商工会議所  
会頭 立石 義雄